

共産党都議団

都民・父母の願い実現に 真剣に向かい合う

公明党は都議選(6月23日告示、7月2日投票)に向けて、大争点である豊洲移転を推進してきた自らの責任に類かむりし、日本共産党への事実上反した攻撃を繰り返してきます。その一つが、『実績横取り』もへるむ共産党」というものです。

私立高の授業料軽減にみる

都が今年度から私立
高校生の授業料軽減を
拡充したことについて
て、公明新聞1月25日
付は、『赤旗』は(1)
月(19日付一面)、あ
たかも共産党の実績で
あるかのように報じて
いる」と報じました。
都議選に向けたヒラ
(Tokyo Ko
mei)春号外では、
都議会での日本共産党
などの取り組みが実
案し実現「共産党が
実績横取り」という宣
伝は「ウソ」ばかりで
なく、毎年数十万の署
名を集め、請願などを
行い、授業料の軽減を
求める親や都民
の運動を否定するもの
だ。さらに、授業料以
外の入学金や施設費な
業料軽減助成制度の充
実」を求める請願など
に反対し、否決してき
ました。これまで4回
も毎年賛成し、採択を
求めています。
日本共産党は、小池
百合子知事が打ち出し
た「都独自の給付型奨
学金」の公約を評価
し、2016年10月の
都議会で、その具体化
を要求。知事は「速や
かに検討を進める」と
答弁しました。同10月
には、知事に対し、私
立高校の学校納付金全
体を学費として、幅広
い階層の負担軽減を進
めるよう要請していま
す。
一方、公明党はどう
でしょう。
この4年間を見て
きたのが日本共産党都
議団であることがわか
ります。

公明の「共産は実績横取り」はデタラメ

都議会が単独で提
補助の大幅な拡充は、
学費の負担軽減を求め
る父母の運動と世論、
都議会での日本共産党